

感染対策

患者さんの安全を高め、感染対策のイノベーションを推進するための組織と取り組み

オリンパスは、医療従事者の皆さんと共に取り組む感染対策の進歩が患者さんのケアを改善するために不可欠であると考え、2021年に感染対策を医療分野の重要な柱とし、研究開発やメディカル&サイエンティフィックアフェアーズ(MSA)をはじめとした各機能においても感染対策にフォーカスし、連携して取り組みを推進しています。

今後も患者さんの安全を最高レベルに高めることを目指して、感染対策の機能を強化するため、透明性の向上と投資の拡大を図りながら、実行に重点を置いて事業に取り組んでいきます。

Infection Prevention Business Unit (IP BU)、Infection Prevention Center of Excellence (IP CoE)、Infection Prevention & Control (IPC)、Infection Prevention System Development (IP Sys)およびInfection Prevention Engineering (IPE)は一体となって総合的なアプローチを実現し、患者さんの安全性のレベルをグローバルで引き上げてまいります。そして、患者さんの安全を最大限に高めるために、リプロセスの効果をさらに向上させ、新しい滅菌装置等との互換性

を拡大するためのソリューションを継続的に開発していきます。患者さんのケアの観点から、グローバルで厳格なバリデーション(有効性証明)の基準に合わせて、ソリューションを積極的に開発して提供していきます。

感染対策において、患者さんの安全を向上させることにより、医療経済、環境の観点においても持続可能なリプロセスのソリューションを提供するとともに、オーガニックおよびインオーガニックの機会を追求していきます。今後も内視鏡洗浄消毒装置とその消耗品を中心としたポートフォリオにより、売上成長を実現していきます。



内視鏡洗浄消毒装置を EMEAで発売

十二指腸内視鏡の米国市場における置き換え活動の進捗

当社は患者さんと医療提供者の皆さんへのコミットメントを強化すべく、米国市場でこれまでの十二指腸内視鏡を最新の十二指腸内視鏡に置き換える活動を推進しています。最新の十二指腸内視鏡は、内視鏡先端回りのリプロセスを容易に行うため、規制当局の推奨事項に沿って、鉗子台の構造を見直し、先端キャップ着脱式となっています。

リプロセスのワークフローを強化し、医療従事者の皆さんのリプロセスへの理解をさらに深めていただくため、オリンパスは医療従事者の皆さんとの実地(オンサイト)およびオンラインのリプロセスに関するトレーニングの実施を支援し、取扱説明書

の記載を明確化しました。医療従事者の皆さんに安全にリプロセスを実施していただくため、米国では2,200件を超えるトレーニングを実施しています。



先端キャップ着脱式の 十二指腸内視鏡

リプロセスの教育資料と各種情報を通じてコンプライアンスと患者さんの安全を強化

私たちは、ガイドラインを遵守することにより、リプロセスの工程の品質と安全性を促進するだけでなく、医療従事者の皆さんの進化するニーズに応えたいと考えています。当社は、継続的な対話と緊密な連携を通じて、科学的な専門知識や知見をさらに活用したデータに基づくイノベーションを推進し、製品やサー

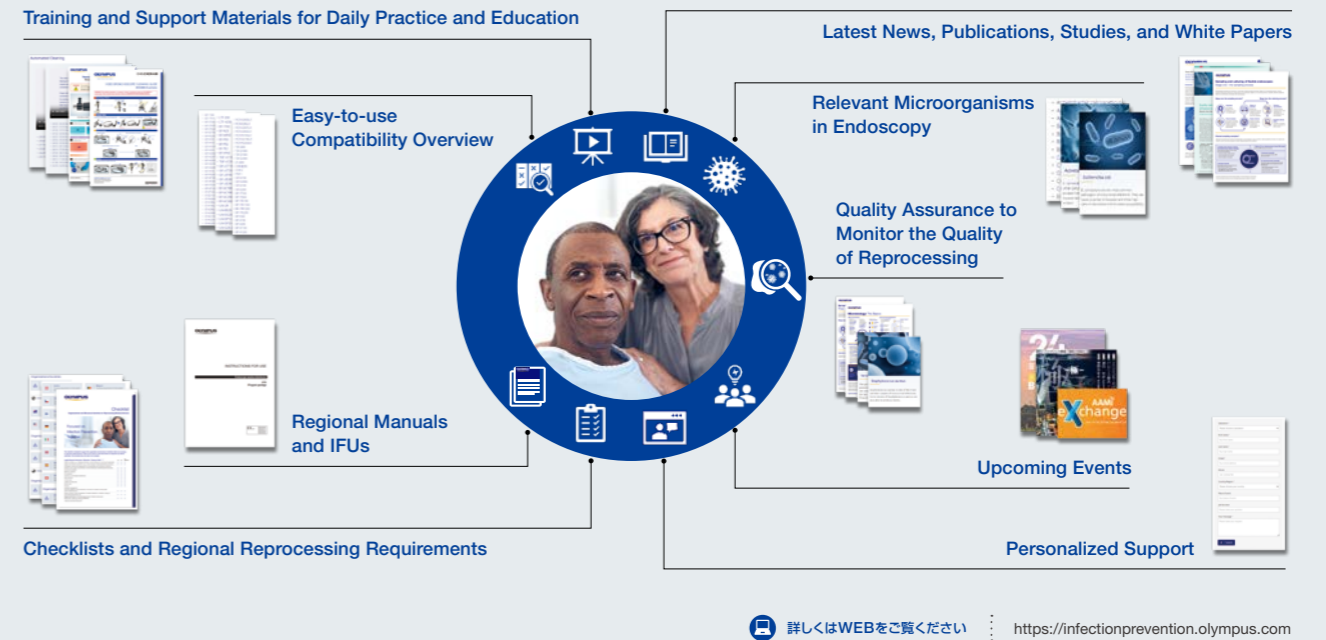
ビスの提供を強化することで感染対策の取り組みを最前線でリードしてまいります。

オリンパスは、感染対策の信頼できるパートナーとして、内視鏡リプロセスにおいて患者さんの安全を高めるよう努めています。感染対策に関するグローバルWebサイト*では、「内視鏡リ

プロセス」(オリンパスの内視鏡の安全なリプロセスに関する最新のガイダンス)および「科学的根拠」(最新の動向やガイドラインに関する情報を提供するための内視鏡医療における感染対策の最新の根拠)に関する教育資料と各種情報を医療従事者の皆さんに提供しています。サンプリングや培養等の品質保

証に重点を置くことで、当社はより安全なリプロセス方法に関する情報を提供し、医療水準を向上させることに尽力してまいります。

* 2023年9月時点において、このWebサイトは日本を含む一部の国の医療従事者に対しては公開しておりません。順次対象国を拡大し情報提供してまいります



世界トップレベルの専門家と連携し、効率的かつ安全な内視鏡リプロセスを促進

世界トップレベルの感染対策の専門家、専門学会、主要なオピニオンリーダーとの緊密な連携により、当社はグローバルスタンダードの方針、ガイドライン、法律を常に理解し、高品質、効率的かつ安全な内視鏡リプロセスの実施に尽力しており、信頼できるパートナーとなっています。

私たちの主な成果の一つとして、毎年開催されている「内視鏡衛生専門家フォーラム(EHEF)」の設立が挙げられます。EHEFは、安全な内視鏡リプロセスについて議論し、イノベーション、コラボレーション、知識の共有を促進することで、感染対策の発展を推進することを目的として設立されました。2016年以降、感染対策の極めて重要なプラットフォームとして機能しており、国際的に著名な医療従事者やオピニオンリーダーの方々が参加しています。

今年のイベントでは、主に内視鏡医療において、患者さんの安全を高めるために重要な側面であるサンプリングと培養に関する最新の研究と成果に焦点を当てました。欧州、米国、アジア

の専門家が、軟性内視鏡の培養検査についての国際標準について共同で提言を行いました。

これからも、私たちは感染対策のより良い将来を構想しながら、あらゆる取り組みにおいて患者さんの安全を第一に考え、イノベーションを推進していきます。



内視鏡衛生専門家フォーラム(EHEF)参加者